

# ニッキン

ブラックロック・フレキシブル・インカム・ファンド／BINC

## 株式偏重から債券へのシフトを後押し

ブラックロック・ジャパン

### 押しファンド

アクティブETFも活用したポートフォリオ提案が急速に広がる米国では、「BINC」という債券のアクティブETFが上場からわずか1年半程度で60億米ドル程度（約9100億円）の資金を集め拡大中だ。

当ファンドは、「BINC」を投資対

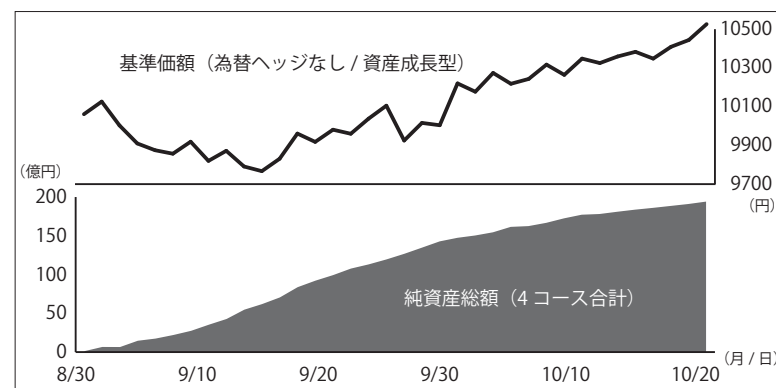
象とした国内投資信託で、日本の投資家向けに2024年8月末に設定された。債券投資の本分ともいえるインカムに注力しており、継続的に高いインカムの獲得を目指して、世界中の債券に投資。高度で専門的な調査やリスク管理が必要でありつつも、魅力的なインカム収益を獲得する投資機会が存在する債券に8割超を投資する。これには新興国債券、ハイ・イールド債、証券化商品なども含まれ、一

見するとリスクが高いようにも思えるが、2500超の銘柄に分散投資したポートフォリオでリスクの低減を図る。

運用責任者はブラックロックグローバル債券CIOのリック・リーダー氏。ブラックロックの世界屈指の債券運用部隊

名称	ブラックロック・フレキシブル・インカム・ファンド／BINC (為替ヘッジなし／資産成長型) (限定為替ヘッジあり／資産成長型) (為替ヘッジなし／実績分配型) (限定為替ヘッジあり／実績分配型)
運用会社	ブラックロック・ジャパン
カテゴリー	追加型投信／内外／債券
純資産残高	194億円 (10月24日時点、4コース合計)

の総力を結集した債券「全部入り」のフォリオの見直しや投資魅力が増した当ファンドで、株式へ偏重したポートフォリオの投資を検討したい。



日本金融通信社が記事利用を許諾しています  
ニッキン 2024年11月15日号14面